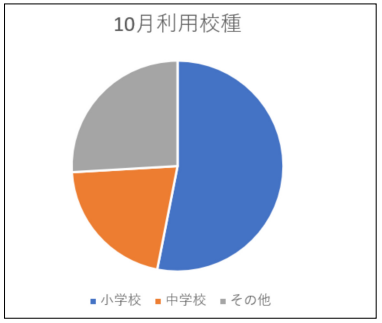
# INFO@g. shunan. ed. jp

周南市教育研究センターHP

## 10月の活動状況

＜校種別＞　81件

小学校43、中学校17、その他21




＜内容別＞　86件

○電話等による問い合わせ等　24

○設定支援　27

パスコード忘れ、講演会支援、電子フォーム作成支援、windowsタブレット機のChromebook化他

○訪問、その他　28

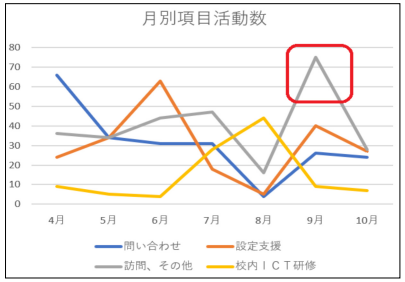
クレードル配付、画面割れ交換、パスコードエラー復旧、PC回収

○研修他　7

授業参観、iPad交換、figjamマニュアル作成

9月はCBT準備による機器整備が多くありました。

次のグラフは4月～10月までの活動状況です。




また、現在INFO61号で紹介しましたFigjamの利用マニュアルを近日中に各校に配信します。

GoogleClassroomを使ってFigjamのURLを配信する方法です。

Figma、Figjamと言葉が錯綜します。Figmaはデザインツール、できたファイルがFigjamと捉えると良いと思います。

## iMovieを使って

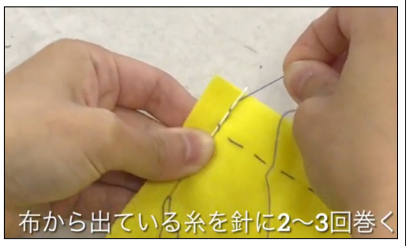
10月24日（火）に市小研の各部会があり、家庭科部会ではiMovieを使って「教材動画作成」に取り組まれました。

「録画」となることから教科書等の著作権への留意事項の説明を研修した後、動画課題別グループになって、いろいろな角度から手元を撮影されました。

撮影したものはエアードロップで共有してもらいました。

そして、1分程度の動画に、BGM、テロップ、さらには再生速度を変化させる等、その編集に取り組まれました。

この動画は後日、市教委の「教材共有フォルダ」にアップロードして、ＱＲコードにより、児童が個別にアクセスして見られるようにする予定です。




この研修により、児童が手軽に使えるiMovieを使って「１分動画」を作り、発表していく授業が展開されることを期待しています。

動画はメモリを多く使いますので、クラウド保存されるように、必ず教育アカウントで本体にサインインしておいてください。

中学校の「地域調べ」では、短編動画を利用して発表されるケースもありました。

また、動画を使いながら口頭発表するだけではなく、大版用紙に地図を書き、その地図の中に動画のＱＲコードを貼り付け、観覧者がアクセスするという「見方の工夫」というケースもあります。

さらに、「Keynote」でグリーンバックのスライドにタイトル文字を入れ、iMovieのクロマキー合成を使う工夫も効果的です。

表現力を磨く良い機会となることでしょう。

## 出欠席電子フォーム

小学校の複数校から問い合わせがあり、個別対応しています。

MicrosoftFormsやGoogleフォームを使って、出欠席情報を収集している学校は、校務パソコンで内容確認をされています。

しかし、授業者は「学習活動」として、教室での実態と出欠席データとを確認した上で、授業を始めます。

そこで、バーコード利用実証実験校に配付した教室端末への「機能追加」として、希望された学校に、表示項目の厳守を前提に、出欠席フォームを案内しています。

端末の専用化により、教室での誤表示防止と、現在のセキュリティポリシーを遵守してもらうためです。

※案内する出欠席フォームはiPadでは動作しません。

## 知っておきたいICT

**「やまぐちメタワールド～デジタル企業図鑑～」**

令和5年10月23日（月曜日）から令和6年2月29日（木曜日）

参加可能時間帯

6時00分から22時00分

参加者はパソコンやスマートフォン等でメタバースに入場し、アバターを操作して空間内に設置された企業・団体のブースにアクセスし、ブース内にあるショート動画やカタログ等の閲覧やクイズへの回答等を通じて企業等に関する理解を深めます。（山口県報道発表から）

周南市教育委員会
周南市教育研究センター
ICT教育推進室
ＩＣＴ教育アドバイザー